RIPPLE SAILING CLUB
NO.88

月刊１９９０・１．１５

RIPPLE

（発行）　５００円
リプル・セイリングクラブ
〒２３８－03
神奈川県横須賀市長井２－１１－１
TEL ０４６８－５７－１７１１

たくさんの年賀状ありがとうございました。

初日ノ出 クルージング

三崎マリンの陸置部分のハーバー内のあちこちには、薄氷が所々に張っているという寒さの中で１９９０年の初日の出が登ろうとしていた。３１日のどんちゃん騒ぎのアルコールが抜けきっていない参加者１３名は、寝過ごした阪上氏、風邪で寝込んだ木村氏を残し、まだ暗いがほんの少し白くなりかけた、相模湾へと出航した。

陸で感じた寒さが障害物のない海に出ると、更に輪を掛け露出部分に伝わって来る。

時間の経過と共に東の空が偏平の楕円の形に赤味を増して来ている。ぐるりと３６０度見渡すと三浦半島、房総半島、伊豆半島、そして大島が澄み切った相模湾上に浮かんでいるのがよく分かる。

参加者の誰かが呟いた。「湖みたい！」

針路Ｓのままどれくらい走ったろうか城ケ島がポートサイドかなり後方に走り去っていた。

同じ思いを乗せた艇がそこかしこに見える。

赤い偏平の楕円の弧が大きく成るに連れてスターン側の真っ白な富士山も赤くなって来るのである。

細[illegible]で”すっ”と書いたような雲が三、四重に段差をおいて真っ赤になり[illegible]した。

参加者全員は狂ったような赤い方を見つめ続けている。

海を渡る風の音と僅かな波の音の静寂の中で、秒単位で変化する東方に”すっ”と１９９０年の初日の出が出たのである。デッキ上は歓声に包まれ新しい年の夜明けを祝ったのである。

初日の出をずーっと登りきるまで追い続けていると太陽の縁がぐるぐると弧を描きながら急速に左に右にと回転するのである。登りきるまで本当にあっという時間であったが近年にない素晴らしい初日の出であった。リプルも今年の初日の出に負けないよう頑張りますので今年もよろしくお願いします。

クルーザー購入計画（続報 パート3）

既にご存じのクルーザー購入計画ですが、１月１５日現在２３名の申し込みを頂きました。４０名の募集ですので、折り返し地点を通過したという感じです。これでハードルのひとつである資金的な面の人数確保は一応おぼろげながらもゴールが見えて来たと言う感じになってきました。　そして、もうひとつのハードルのホームポートですが、これが今一[illegible]難しい難関になっております。

私達が日頃セーリングしている相模湾側、或は相模湾に近い東京湾の民間のハーバーの門を叩いてみたところ、ことごとく満杯の状態で予約受付も行っていないのが現状でした。

それでは自由係留はとなるわけですが、名ばかりの海洋国日本は日本全体ぐるりとかの我々セーラーにとって悪法の漁業法に基づく漁業権が隙間なく取り巻いています。また、入江とか漁港は更に追い打ちをかけるように漁港管理条例と言う法律でがんじがらめになっているのが現状です。

会員募集中!!

2月中には進水といきたい!

クラブジャンパー締切り迫る!!

昨年の暮れクラブジャンパーを募集しましたところ２０数名の方から申し込みがありました。物はヘリーハンセンの１３、０００円のジャンパー形式の物です。カラーは蛍光のレモンイエローで、背中にＲＩＰＰＬＥ ＳＡＩＲＩＮＧ ＣＬＵＢとマークが入ります。納期は３月過ぎになりますので今年の冬には間に合いません。

駅伝レースとか湘南カップには間に合いそうです。

そろそろ欲しい人が出尽くした様なので、またメーカーとの関係もありますので今月末には締め切りたいと思います。希望者は電話ででも結構ですので至急に連絡下さい（２４時間受付可）。またサイズはマリンショップに行って調べて来て下さい。

注・・・阪上さん、大貫さん、荒井さん、政本さんサイズを知らせて下さい。

スキーツアー参加者募集中!!

今年は1ページものです。

世の中スキーシーズン真っ盛り、会員の方も既に２、３回はゲレンデに行かれた事と思います。クラブハウスで交わす会話もスキーの事ばかり、クリスマスイブの日男４人で寂しく夜を過ごしたとか、新品のスキーが雪不足のためガリガリになってしまったとか、苗場まで８時間掛かってしまったとか、３１日夜遅く帰ってきて寝過ごしたため、恒例の初日の出クルージングに参加出来なかったとかで、ヨット・ウインドの会話よりも多い今日この頃のクラブハウスです。

そして、我がリプルも今年もゲレンデ目指して出発進行です。

まだ１０名程度しか申し込みが有りませんが、よだれが出てきそうなメンバーです（こらこら、おじさん！）。喋らなければすごい美人のちゃっきり、Ｋ氏がほの字の宮崎芳美、反対にＫ氏にほの字のよしこ（はっしーのかみさんではない）、同名のよしみ、スキーのめちゃくちゃうまいちひろ、ヨットのうまいよっこ、女手ひとつで都内の３ＬＤＫのマンションを３０年ローンで買ってしまったあやしい女あっちゃん、チーママっぽいあやしい色気のある広瀬、と話題に事欠かない女性達、今年も盛り上げてくれそうですね。

しかし、怠慢なＳ氏！まだ何処に行くか決まっていない！

場所は来月の月刊リプルでお知らせ致します。

日程は下記の通りです。

日時	３月２日（金）夜出発－－－３月４日（日）夜到着
費用	２０、０００円（位）
場所	未定

＃・・・宿、バスの手配が有りますので人数だけ確定したいと思いますので早めに申し込んで下さい。

昨今のこの付近の漁獲高が低迷している中、漁協の中でヨット、モーターボート等のプレジャーボートを停係泊させ売上に寄与させようとする二第日漁師が増えてきたのが嬉しいことではあるが、やっとこさの方法で同意を得られたとしても、農林水産省の下部組織である漁港事務所が”だめ！”の一言で片付けられてしまうのが、今までの経過です。

さらに最悪なのは、神奈川県漁港管理条例第８条に基づく泊地内停係泊許可申請書を知事の委任者である漁港事務所長が申請書を受理をしてくれないという大変おかしな現実にぶち当たっています。

最初の応対は一人であったものが、最近は２人とか３人になりＳ氏のしつこさに参っている様子であります。また彼らは公務員であるため、恐らく２、３年で本庁に戻るためか在任期間中は問題を起こしたくないというのが見え見えで”このやろう！”という気持ちになってきます。そして、これ以上進展の無き場合は公的判断を仰ぎましょう。というところまで話がエキサイティングして来ており、この時期のリプルの格好の暇つぶしになっております。

この件に関しては、月刊リプルで後日詳しく報告いたします。

それにしても、違法停係泊の罰則が管理条例第１８条によれば１万円以下の過料に処すとなっており、かなりの回数で違反しても民間のハーバー代金よりも格安のため”どーもすいません！”の連発をやってやろうかと言う考えも起こって参ります。

そんなわけで今日はセイリングに誰も見えないなーと判断しましたら少しの間ですけど、留守にすることが有りますので、留守番電話を活用して下さい。

ボートショー入場券差し上げます。

来る２月１１日（日）から１５日（木）までの５間東京晴海で国際ボートショーが開催されます。

昨年の出展社及び入場者は過去最高を記録し大変な賑わいでした。そして今年は昨年の出展社を２７社を上回る１９２社にもなり更に記録が生まれそうです。残念なことにディンギー、ウインドは昨年同様あまり期待するものがなく、大型艇が中心になりそうです。

まー興味のある人は足を運んで下さい。また入場券が業者から何十枚という程毎年頂きますので欲しい人に差し上げますので連絡下さい。